

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第3区分
 【発行日】平成19年9月6日(2007.9.6)

【公表番号】特表2003-505948(P2003-505948A)

【公表日】平成15年2月12日(2003.2.12)

【出願番号】特願2001-511093(P2001-511093)

【国際特許分類】

H 04 N 5/52 (2006.01)

H 04 N 7/015 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/52

H 04 N 7/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成19年7月12日(2007.7.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】 パイロットトーンが搬送波周波数の中心付近にあるテレビジョン信号の搬送波捕捉を実行するためのプロセスであって、

制御信号に応答して、第1の増幅レベルを使用して前記テレビジョン信号を増幅する工程と、

前記増幅されたテレビジョン信号から搬送波周波数を捕捉する工程と、

前記搬送波周波数の捕捉に応答して、前記第1の増幅レベルが第2の増幅レベルよりも大きい場合、該第2の増幅レベルを使用して前記テレビジョン信号を増幅する工程とを具えたことを特徴とする方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項10】 パイロットトーンが搬送波周波数の中心付近にあるテレビジョン信号の搬送波捕捉を実施するための装置であって、

第1の増幅レベルを使用して前記テレビジョン信号を増幅し、かつ、第2の増幅レベルを使用して前記テレビジョン信号を増幅する回路であって、前記第1の増幅レベルが前記第2の増幅レベルよりも高いチューナ回路と、

前記増幅されたテレビジョン信号から搬送波周波数を捕捉するための搬送波回路と、

前記チューナおよび前記搬送波回路に接続され、該搬送波回路が前記搬送波周波数を回復したことに応答して、第1の制御信号および第2の制御信号を生成する制御回路とを具えたことを特徴とする装置。